

スワンソン総合診療問題集

—問題志向のアプローチ

電子書籍で遂に登場!

電子版

Get Full Access and More at

ExpertConsult.com

36カ月の
購読ライセンス

スワンソン
総合診療問題集 —問題志向のアプローチ—

Swanson's
FAMILY
MEDICINE
REVIEW
A PROBLEM-ORIENTED APPROACH



8th Edition

著者: Alfred F. Tallia
Joseph E. Scherger
Nancy W. Dickey

監訳者: 竹村洋典

オンラインで
いつでも
アクセス

- 1 家族, コミュニティ, 集団医学
- 2 コミュニケーション
- 3 成人医学
- 4 女性の健康
- 5 マタニティ・ケア
- 6 小児と思春期
- 7 老年医学
- 8 メンタルヘルス
- 9 救急医学
- 10 スポーツ医学
- 11 画像集

注: 写真はイメージ図です。画像と実際の商品は異なりますので、ご注意ください。
本商品ではExpertConsult及びStudentConsultへのアクセス提供はございません。ご了承ください。

米国で何世代にもわたり総合診療医に愛された、
最も定評のある書籍。

- 北米の総合診療医が実際に実施している診療内容が網羅されている
- 世界レベルの総合診療の臨床内容を知ることができる
- 総合診療医として必ず身に付けるべき臨床内容がコンサイスにまとめられている

Swanson's Family Medicine Review

監訳者序文

もう40年以上も前のことになってしまったが、私は、米国のテネシー大学にて3年間の総合診療専門研修(family medicine residency program)を受けた。当時の日本には総合診療の概念がほとんどなかった。日本では人によって内容も異なっていた。名前ですら総合診療、総合医、総合臨床、家庭医、ジェネラリスト……と一定していなかった。そんな状況下で私にとって米国の総合診療医は夢であり燦爛と輝く星であった。どうしてもそれに触れたくて米国のすべての約400プログラムに手紙を送ったのが懐かしい。そしてついに渡米、研修が始まる。そして米国の研修を受けてその幅広さと、ある程度の深さにとても驚いた。そして私が考えていた「総合診療」以上のものであることを認識した。

内科領域や精神科領域だけではない。産婦人科領域でも妊婦検診から分娩介助も。帝王切開の助手までする。さらには産褥婦のケアも行う。婦人科においても子宮頸部の擦過細胞診をはじめ、さまざまな検査手技を普通に行う。生まれた児はその時からかかりつけ医に。新生児から小児の外来診療も入院診療も行う。耳鼻科、眼科、皮膚科などのさまざまな検査手技も自ら実施。簡単な皮膚縫合はもちろん、精管結紮術(パイプカット)まで普通に行う。救急外来(ER)でも、ありとあらゆる主訴の救急患者をもまず診察する。そして、さまざまな診療科の医師と連携した。コメディカルとも一緒に診療する、しかもかなり対等に。例えば、看護師は入院診療においても外来診療においてもかなりの権限が与えられている。MSWなど福祉系の人との連携もよく行われる。ティンエイジャーの出産後の養子縁組の相談まで。そして、それらが患者中心に行われる。患者の考えや期待、また患者の背景にある心理、家族、社会、経済的なさまざまな要因を勘案しながら診療する。

そしてふと思う、「このような包括医療、連携を提供し患者中心の医療を教え込むのは自分の属するテネシー大学のプログラムだけなのか?」と。そしてどこまでの診断的、治療的診療・手技などがほかの医療機関の総合診療医は行なっているのか。そんな不安を同僚に漏らすと、「ヨウスケはSwansonの問題を解いたらばいい」と教えてくれた。かなり多くの同僚がそれに同意した。スワンソン?それは総合診療の最も標準的な診療を体験できる問題集であり、それを知らない専攻医はいないとのことだった。

早速この問題集Swanson's Family Medicine Reviewを購入し、問題と対峙した。自分が米国の総合診療専門研修で行っているさまざまな

診療内容が問題として次々と出題されており、とても納得したのを覚えている。自分が受けている総合診療研修が北米基準に合致しているのが確認できた。そして北米のすべての総合診療医の質の高さが認識された。

日本の同様の問題集だと、各専門医が集まって作ったような難しく、しかも実施する手技や治療も到底、総合診療医にはできそうもないもの、または端から専門診療科に紹介すべき、みたいなものが多い。その点、Swansonの問題集は、北米の平均的な総合診療医が実施すべき診療が基準となっている。これは世界レベルのプライマリ・ケアと言ってもいい。網羅的な無数の選択肢ではなく、切れのよい厳選された選択肢数はこの問題集の特徴と言ってもよからう。他の教科書のように安全面を担保するために覚えきれないほどの鑑別診断を挙げることもない。それゆえに、もっとも重要で、かつ必要な知識がどんどんと身につく。

今の日本では、改訂版医学教育モデルコアカリキュラム、医学教育分野別評価基準などで、卒前医学教育において総合診療科での研修は必須となっている。Swansonを使用し少なくとも世界レベルのプライマリ・ケアの知識を身に着けることは、日本の医学生の良い目標となると思われる。また、日本のすべての医学部医学科卒業生は2年間の臨床研修でプライマリ・ケアレベルの診療を身につけることが目的となっている。臨床研修を受けるすべての研修医が、Swansonレベルの知識は身につけてもらいたい。さらには、総合診療専門研修や内科専門研修などの専攻医については、このSwansonで出題される臨床能力がきちんと実行できるぐらいになってほしい。そして世界の総合診療医(family physician, general practitioner, またはhospitalist)と対等に話ができるようになってほしい。また、総合診療医のみならず、あらゆる専門診療科の専門医にとっても、その基盤にプライマリ・ケア能力があることが重要である。それがあからこそ、専門性が磨かれるといっても過言ではない。

すべての医学生、医師が世界レベルのプライマリ・ケアをSwansonに接して、世界レベルのプライマリ・ケアを認識し、それを基に研鑽・研修を積んで、日本の多くの医師が世界で戦えるプライマリ・ケアを基盤にした臨床医となってほしい。

竹村 洋典

注:本書では、family medicineの訳を「総合診療」としているが、これは厚生労働省の「専門医のあり方に関する検討会(2013年)」でこの分野の専門医名称を「総合診療医」とすることになったこと、また現在、日本専門医機構の基本領域専門医においても「総合診療」となっていることから、使用している。

「総合診療医」向け電子書籍 スワンソン総合診療問題集 — 問題志向のアプローチ

販売希望価格 **6,600**円(本体6,000円+税10%)

形式 **電子書籍(3年間のアクセス権)** ※Pinコードでアクティベーション後36カ月

利用方法 **PC、スマートフォン等よりインターネット経由してアクセス**

商品サイト **<https://online-elib.jp/books/swanson.html>**



監訳者による紹介動画

取扱い書店

エルゼビア・ジャパン株式会社

〒106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15-3F
TEL: 03-5561-5443 FAX: 03-5561-5050
E-mail: jp.hsbooks@elsevier.com

※ご注文は最寄の医学書取扱い書店にお願い致します。
※プライバシーポリシーに関しては、ホームページをご覧ください。